

## 核兵器禁止条約について 知事の受け止め方を問う

7月7日、人類史上初めて核兵器を違法とする核兵器禁止条約が国連会議で、国連加盟国のうち三分の二の122か国が賛成して採択されました。

残念ながら唯一の被爆国の代表である日本政府は、この核兵器禁止条約を決めた会議に参加しませんでした。

去る8月9日には、20年前に県議会が非核県宣言を行ったことを記念して「平和のつどい」がアスト津で行われましたが、知事の口からは、核兵器禁止条約についての言及は一切ありませんでした。

そこで、核兵器禁止条約について、知事の受け止め方と、日本政府の考え方についてたずねました。

### ▼核兵器禁止条約▼

前文に「ヒバクシャの容認しがたい苦難と損害に留意し」と盛り込み、加盟国に核兵器の開発、保有、実験、使用だけでなく、核兵器による威嚇行為も禁じている画期的なものです。核保有国が条約に参加する道もつくり込まれ被爆者援護も盛り込まれています。

次に、被爆者の皆さんが取り組んでいる「EPAクシヤ国際署名について」9月12日現在、865の自治体の長、このうち知事は16人が署名されています。

皆さんに「鈴木知事署名してください」と依頼されたら、知事は署名をしますかと問いました。

### 知事の答弁

日本政府の立場を支持し、署名は差し控える。

核兵器禁止条約は保有国と非保有国の対立を助長すると認識している。

日本政府の現実的な路線を支持し、署名は差し控える。

今年の長崎平和宣言で長崎市長は「核兵器禁止条約の交渉会議にさえ参加しない姿勢を被爆地は到底理解できません」と批判しました。

今、北朝鮮が核兵器の開発を行っていることは許されないことです。今度は太平洋で核実験を行うといまっていますから、大変危険な状態です。

しかし、世界の世論の流れは、確実にアメリカと北朝鮮との直接対話を望んでいます。

●**日本政府がとるべき道**  
核兵器をなくしたいという被爆者の皆さんの願いを真正面から受け止めて、核兵器禁止条約に参加し、アメリカと北朝鮮の間に入って、世界の世論といっしょになって対話をすすめることではないでしょうか。

### ●被爆者署名72年の願い

署名には、被爆者の皆さんが「私の生きているうちに核兵器をなくしたい。核戦争をおこさないでほしい」という願いがこめられていると思います。核兵器廃絶の世論を世界的に大きくすることが、核保有国の態度を変えることとなります。

## 三重県身体障がい者総合福祉センターの大規模改修必要！ 2021年「第21回全国障がい者スポーツ大会」(みえとこわか大会)



体育館のぼろぼろになったカーテン。玄関のひさしも塗装があちこちではがれています。体育館のドアは、車いすバスケットの激しい競技でよくぶつかるために壊れて、添え木がしてありました。トイレや更衣室なども古いままでした。



宿泊施設の外壁です。ずいぶん傷んでいます。雨漏りはあちこちあるそうです。

このセンターは、津市一身田大古曾に1985年昭和60年)につくられ、障がい者支援施設とスポーツ部門のある身体障がい者福祉センターA型の複合施設として、三重県の身体障がい者の拠点施設となっています。

センターを管理している三重県厚生事業団の方のお話では、30万円以上の修理は財政的にむづかしいので、ちょこちょこ直しをしているとのことでした。

障がい者スポーツ大会まであと4年です。緊急に大規模な改修が必要だと求めました。

障がい者の皆さんの声を聴き、利用しやすいスポーツ施設と減免制度の充実も要求しました。

### 9月の活動のひとこま・ふたこま



# 民意ふみつけの 強権政治は もうごナン

憲法と福祉を守る政治を！